

三鷹市制施行55周年・(財)三鷹市芸術文化振興財団10周年記念

クールベ美術館展

～故郷オルナンのクールベ～

(財)三鷹市芸術文化振興財団・三鷹市美術ギャラリー主催、フランス大使館後援。

あるがままの風景や人物を描き、その後の印象派の画家たちに大きな影響を与えた19世紀の代表画家、ギュスターヴ・クールベの作品展。

期間 6月5日(日)まで

開館時間 午前10時～午後8時(入館は午後7時30分まで)

休館日 月曜日

会場 三鷹市美術ギャラリー

観覧料 一般800円・学生 中・高・大 500円

65歳以上、小学生以下、障がい者の方は無料。

この記事を取り扱い会場にお持ちください。1回に限り2人まで一般入場料800円を640円に割引します。



《浅瀬を渡る》
1841年 26 x 22cm 油彩



《ブレイム川の水》
1864年頃 75 x 94cm 油彩

関連ワークショップ【こどもアートクラブ】 広げよう!クールベの見た風景

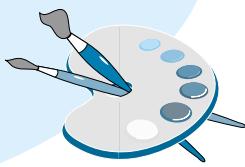
画家のクールベさんのかいた絵は、

けしきの一部だよ。まわりはどうなっているのか
そうぞうして、おっきな画用紙に書いてみよう!対象は小学生。

企画・進行は非営利団体MAG-net(マグネット)

▷5月15日(日)午前10時30分～午後3時、三鷹市美術ギャラリー、芸術文化センター・アートスタジオで。水彩えのく、クレヨン、色えんぴつ、水性マーカーの中から使いたいものを持参。動きやすく、汚れてもよい服装、靴で来てね。

▶5月6日(金)(必着)までに往復はがきに住所・氏名(ふりがな)・性別・学校名・学年・電話番号・どこから情報を得たのかを記入し「〒181-0013下連雀3-35-1三鷹市美術ギャラリーワークショップ係」へ申し込む(申込多数の場合は抽選) 参加費2,000円(材料費・税込み)、バス代(110円) 昼食代(希望者のみ)は別途ご用意ください。定員20人。



「グラフィタカ」第17号ができました
グラフィタカは、最新の号の特集は「BOOKビタミン」本のある暮らしです。本は私たちの心と人生に効く良質なビタミンのような存在です。本のある暮らしをもっと楽しんでみませんか。NPO法人子育てコンビニ、中川温度計加工所も同時に紹介しています。グラフィタカは、市役所1階受付、2階相談・情報センターのほか、各市政窓口、図書館、社会教育会館、コミュニティセンターなどで配布しています。ぜひご覧ください。グラフィタカのバックナンバーを、市役所3階広報係で配布しています。くわしくは広報係 ☎内線2133までお問い合わせください。



「グラフィタカ」
第17号ができました

作品で描かれたアルプスのハイジの家



©ZUIYO

その作品は、当時のテレビアニメーションとしては画期的なもので、多くのTVシリーズやジブリ作品にさまざまな形で引き継がれています。新企画展示では、「アルプスの風土と暮らし」をテーマに、作品でハイジが過ごした山の暮らしの様子をジオラマや模型などで解説するほか、制作スタッフやイラストレーターなどをパネルで展示し、「ハイジ」が好きな人も知らない人も興味を持って楽しめるような内容になっています。

「アルプスの少女ハイジ展」その風土と暮らし」を開催します。

5月21日(土)から三鷹の森ジブリ美術館新企画展示 アルプスの少女ハイジ展 ～その風土と暮らし～

展示は徳間記念アニメーション文化財団主催、瑞鷹(株)サンクリエート、スイス政府観光局協力。

ヨハンナ・スビリによって1880年に書かれた原作「ハイジ」の世界を余すことなく描いて1974年にテレビ放映された「アルプスの少女ハイジ」は、30年経った今でも世界中で放映され、原作国のスイスでも親しまれているアニメーション作品です。

三鷹市民特別枠もあります 特別フィルム上映会と内覧会

「アルプスの少女ハイジ」でアルプスでの最初の生活が描かれている1〜3話(35分フィルム)を「土曜座」で上映。美術館学芸員による解説も予定しています。また、鑑賞後は、新企画展示が一般に先駆けてご覧いただけるほか、通常の8分の1の入場数で館内をお楽しみいただけます。カフェ(メニュー変更の場合あり)、ショップも通常通り営業します。

▽5月21日(土)、22日(日)の2日間、午前10時、11時30分、午後1時、2時30分、開場(21日)と22日(日)は三鷹市民のみ、三鷹の森ジブリ美術館で。
募集人数 各回抽選により40ペア80人(2日合計320ペア640人)。
参加料 大人1千円、中高生700円、小学生400円、幼児(4歳以上)100円。当日、美術館入口でお支払いください。4月28日(木)(消印有効)までに、官製はがきに住所・氏名(ふりがな)・来場予定者の区分(大人・中高生・小学生など)・希望日・希望入場時間を記入し、「〒181-0013下連雀1-183」ハイジ展 イベント係へ郵送で申し込み。当選者にははがき記載の住所に招待状を発送します。応募は1ペア1枚とし、複数枚の申し込みは無効。1人での申し込みも可能。↓同館 ☎0570-05777(こあんないダイヤル)

人口と世帯 (平成17年4月1日)
住民基本台帳 83,057世帯 170,646人 (男:84,747人・女:85,899人)
外国人登録 2,814人

三鷹市 みる・みる・三鷹 広報番組
武蔵野三鷹ケーブルテレビ5ch
1日4回放送 9:30/12:00/19:30/23:30
第212回(4月17日～5月7日放送)
清原慶子市長に聞く、新年度の施政方針

三鷹市市情情報番組
おはよう!三鷹市です FMむさしの78.2MHz
月～金曜日10:20～25放送

広報みいたかは三鷹市シルバー人材センター会員がお届けしています。
シルバー人材センター ☎48 6721

チケット インフォメーション

チケットのお求め方法

電話予約
芸術文化センター ☎47-5122
窓口販売
芸術文化センター/三鷹市美術ギャラリー/三鷹市公会堂
学生券をお求めの方は当日学生証を拝見します。

販売時間・休館日
10:00～19:00 月曜日休館。

友の会MARCL(マークル)

主催事業のチケットに関して色々な会員特典があります(年会費2,000円)
優先予約 割引1公演2枚まで) 無料郵送(口座振替ご利用の場合) 芸術文化センター内レストランの割引
申込即日優先予約もできます。お気軽に芸術文化センターへ。

三鷹市芸術文化振興財団(芸術文化センター内) ☎47 5122 http://mitaka.jpn.org

発売初日は10:00から電話のみで受付。印の公演には託児サービスがあります。料金500円、要予約。対象:1歳半から未就学児、定員10人

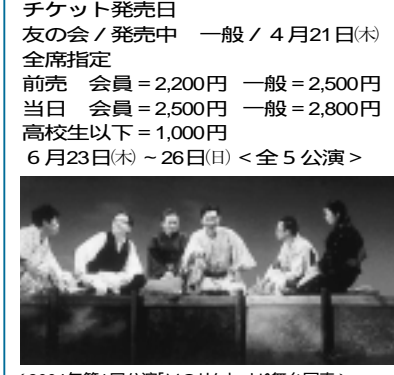
芸術文化センター 星のホール

小津安二郎監督作品連続上映
ついに小津安二郎カラー作品登場!活弁上映の弁士は澤登翠さん!
各回 昼の部11:00上映/夜の部16:30上映
全席指定/各回2本立て/昼の部・夜の部入替制
会員=900円 一般=1,000円
学生=800円
5月14日(土)上映
チケット発売中
【東京の合唱】(1931年・白黒・活弁上映)
出演:岡田時彦、八雲恵美子、菅原秀雄、高峰秀子、高橋達雄
【東京春色】(1957年・白黒)
出演:原節子、有馬稲子、笠智衆、山田五十鈴、高橋貞二、田浦正巳

6月18日(土)上映
チケット発売日
友の会/5月12日(木) 一般/5月13日(金)
【浮草物語】1934年・白黒・活弁上映)
出演:坂本武、飯田蝶子、三井秀男
【彼岸花】(1958年・カラー)
出演:佐分利信、田中絹代、山本富士子、有馬稲子、久我美子

桜桃忌スペシャル 太宰治作品をモチーフにした演劇 第2回

「わたしの王国」～中期散文作品より～
チケット発売日
友の会/発売中 一般/4月21日(木)全席指定
前売 会員=2,200円 一般=2,500円
当日 会員=2,500円 一般=2,800円
高校生以下=1,000円
6月23日(木)～26日(日) <全5公演>



(2004年第1回公演「いのせんとより」舞台写真)
執筆のため地方に出かけた先輩作家が留守の間、畑を預かった後輩作家。そこへやって来る友人や物売り、近所の人々と巻き起こるさまざまな出来事。昭和初期の三鷹を舞台に、ユーモアあふれる太宰の中期作品をモチーフとした、おかしくて楽しくそして少しひねくれた『ある日の太宰治』の物語です。
脚本/村上マリコ

演出/宮本勝行(にんじんボーイ)
出演/高見靖二、宍倉靖二、宮本勝行ほか

6月	23日(木)	24日(金)	25日(土)	26日(日)
14:00				
18:00				
19:30				

マークは託児サービスあり

芸術文化センター 風のホール

ウィークエンド・クラシックサロン
「音の散歩道」
「シューマニアックな男たちの午後」
～ドイツ・ロマンの「愛と死」をみつめて
7月2日(土)15:00開演
全席指定
会員=2,000円 一般=2,500円
学生=1,300円
企画監修・お話/池田卓夫(日経新聞文化編集委員)
出演/赤坂達三(クラリネット)鈴木敦(ヴィオラ)羽山晃生(テノール)高橋望(ピアノ)
曲目/シューマン:「おとぎ話」詩人の恋」(ハインの詩による)ブラームス:クラリネットソナタ第2番 ほか
現代日本の魅力的な男性演奏家を集め、シューマンを中心としたドイツ・ロマン派の作曲家達の「愛と死」を見つめる、トーク付きのコンサートです。